

2026年度 長岡大学シラバス

授業科目名	経済政策 (Economic Policy)					担当教員	牧野 智一 (マキノ トモカズ)	
2020-23年度 入学者(20K-23K)	科目コード	科目区分	必修・ 選択区分	単位数	配当年次	開講期	科目 特性	知識定着・確認型 AL
	2037-1-33-096	専門科目	選択	2単位	3年次	前期		
2024-26年度 入学者(24K-26K)	科目コード	科目区分	必修・ 選択区分	単位数	配当年次	開講期	科目 特性	知識定着・確認型 AL
	2437-1-33-035	専門科目	選択	2単位	3年次	前期		

① 授業のねらい・概要										
<p>経済政策とは、政府や中央銀行が経済の安定や成長を図り、国民生活の向上を目指して実施する諸政策の総称である。その主な目的には、景気の安定（景気循環の平準化）、物価の安定（インフレ抑制）、雇用の確保、経済成長の促進、貧困や格差の是正などが含まれる。</p> <p>本講義では、経済学の知識を用いて、財政政策や金融政策が経済に及ぼす影響を理論的に学習する。本講義の最終的な目的は、経済政策に関する主要な理論を理解した上で、現実の経済において実施される政策がどのような効果をもたらすのかを、自らの判断で考察できる力を養うことである。</p>										
② ディプロマ・ポリシーとの関連										
職業人として通用する能力／専門的知識・技能を活用する能力／情報収集・分析力										
③ 授業の進め方・指示事項										
講義形式の授業を行う。各回の授業内容は関連しているため、十分な復習をした上で授業に臨むこと。										
④ 関連科目・履修しておくべき科目と履修に望ましい予備知識・技能										
「マクロ経済学」「ミクロ経済学」「金融論」「財政学」の知識を有すること。										
⑤ テキスト（教科書）※授業で使用する。										
なし。適宜、資料等のプリントを配布する。										
⑥ 参考図書・指定図書 ※授業では使用しないが、授業内容に関係し、理解を深めるために必要とする。										
竹内信仁編著（2007）『スタンダード財政学 第2版』中央経済社 竹内信仁編著（2013）『スタンダードミクロ経済学』中央経済社 竹内信仁編著（2013）『スタンダードマクロ経済学』中央経済社 『図説日本の財政』（各年度版）東洋経済新報社										
⑦ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）										
学生諸君が授業内容を理解しやすいように、わかりやすい表現と丁寧な解説を心掛けて授業を行う。										
⑧ 評価Aに対応する具体的な学習到達目標の目安										
(1) IS 曲線と LM 曲線について他者に適切に説明でき、IS-LM 分析を用いて分析ができる。 (2) AD 曲線と AS 曲線の導出過程および各曲線の経済的意味を、図や言葉を用いて適切に説明できる。 (3) AD-AS モデルを用いてインフレーションの基本的なメカニズムや種類の違いについて、適切に説明できる。 (4) AD-AS モデルを用いて経済政策の効果を適切に分析できる。										
⑨ ルーブリック										
評価基準	S		A		B		C		D	
評価項目	到達目標を越えたレベルを達成している		到達目標を達成している		到達目標達成にはやや努力を要する		到達目標達成には努力を要する		到達目標達成には相当の努力を要する	
(1)	IS-LM モデルによる経済政策の分析能力	IS 曲線と LM 曲線について他者に適切に説明でき、IS-LM 分析を用いて現実社会と関連させて分析できる。	IS 曲線と LM 曲線について他者に適切に説明でき、IS-LM 分析を用いて分析ができる。	IS 曲線と LM 曲線について他者に適切に説明でき、IS-LM 分析を用いてある程度分析できる。	IS 曲線と LM 曲線について他者にある程度説明できる。	IS-LM 分析について他者にほとんど説明できない。				
(2)	AD 曲線と AS 曲線の理解	AD 曲線と AS 曲線の導出過程および各曲線の経済的意味を、図や言葉を用いて一貫性をもって正確に説明できる。	AD 曲線と AS 曲線の導出過程および各曲線の経済的意味を、図や言葉を用いて適切に説明できる。	AD 曲線または AS 曲線の導出過程および各曲線の経済的意味を、概ね説明できるが、説明に一部不十分な点がある。	AD 曲線や AS 曲線に関する基本的な用語や図の読み取りはできるが、導出の流れや経済的意味を自力で説明することは困難である。	AD 曲線および AS 曲線の基本的な概念や関係性の理解が不十分で、導出や意味について説明することができない。				

(3)	AD-ASモデルとインフレーションの理解	AD-ASモデルを用いてインフレーションの基本的なメカニズムや種類の違いについて、一貫性をもって正確に説明できる。	AD-ASモデルを用いてインフレーションの基本的なメカニズムや種類の違いについて、適切に説明できる。	AD-ASモデルを用いてインフレーションの基本的なメカニズムや種類の違いを概ね説明できるが、説明に一部不十分な点がある。	インフレーションの種類やAD-AS図の変化について基本的な理解はあるが、インフレの違いを区別して説明することが困難である。	インフレーションの種類やAD-ASモデルに関する基本的な概念の理解が不十分で、物価変動のメカニズムを説明することができない。
(4)	AD-ASモデルによる経済政策の分析能力	AD-ASモデルを用いて経済政策の効果について一貫性をもって正確に説明でき、現実社会と関連させて分析できる。	AD-ASモデルを用いて経済政策の効果適切に分析できる。	AD-ASモデルを用いて経済政策の影響について基本的な効果を概ね説明できるが、一部不十分な点がある。	AD-ASモデルを用いて経済政策の影響について基本的な理解はあるが、自力で整理して説明することが困難である。	AD-ASモデルと経済政策の関係に関する基本的な理解が不十分で、政策が経済に与える影響を説明することができない。

⑩ 学習の到達目標（評価項目）とその評価の方法、フィードバックの方法

学習到達目標（評価項目）	定期試験 (レポート含む)	小テスト	課題	発表・ 実技	授業への 取組姿勢・意欲	その他	合計
総合評価割合	70%				30%		100%
(1) IS-LMモデルによる経済政策の分析能力	15%				7%		22%
(2) AD曲線とAS曲線の理解	15%				7%		22%
(3) AD-ASモデルとインフレーションの理解	20%				8%		28%
(4) AD-ASモデルによる経済政策の分析能力	20%				8%		28%
評価項目「その他」詳細							
フィードバックの方法	試験結果の得点分布等を公表する。						

⑪ 授業計画と学習課題

回数	授業の内容	授業外の学習課題と時間（分）（※特別な持参物）	
1	オリエンテーション	ミクロ経済学とマクロ経済学の知識の見直し	60分
2	IS-LMモデルによる財政政策	IS-LMモデルによる財政政策の復習	180分
3	IS-LMモデルによる金融政策	IS-LMモデルによる金融政策の復習	180分
4	IS-LMモデルの限界とAD-ASモデル	IS-LMモデルの限界とAD-ASモデルの必要性の理解	180分
5	AD曲線の導出	AD曲線の理解	180分
6	労働市場と潜在GDP	労働市場についての理解	180分
7	AS曲線の基礎	AS曲線の基礎についての理解	180分
8	AD-ASモデル	AD-ASモデルについての理解	180分
9	様々なインフレーション	様々なインフレーションについての理解	180分
10	AD-ASモデルによる財政政策の分析	AD-ASモデルによる財政政策の効果の整理	180分
11	AD-ASモデルによる金融政策の分析	AD-ASモデルによる金融政策の効果の整理	180分
12	期待インフレと名目賃金	期待インフレと名目賃金についての理解	180分
13	AD-ASモデルにおけるポリシーミックス	AD-ASモデルにおけるポリシーミックスの理解	180分
14	現実の経済政策の分析	これまでの学習を基にした現実経済の分析の理解	180分
15	まとめ	各回の講義内容の整理と理解	240分

⑫ アクティブラーニングについて

知識定着・確認型ALを採用する。各回の授業に対するコメント（感想・質問等）を学生諸君よりもらい、翌週の授業で可能な限りコメントに対する回答を行い、学修効果の向上に活用する。

※以下は該当者のみ記載する。

⑬ 実務経験のある教員による授業科目
実務経験の概要
実務経験と授業科目との関連性